

令和7年度 第2回可児市景観審議会議事録

- 1 開催日 令和7年12月22日（月） 開会時間 14時30分
閉会時間 15時30分
- 2 開催場所 庁舎5階 全員協議会室
- 出席委員 景観審議会委員
- | | |
|--------|-------|
| 松本 直司 | （会長） |
| 亀井 栄治 | （副会長） |
| 伊藤 栄一 | （副会長） |
| 林 久詞 | |
| 竹谷 雅彦 | |
| 義村 晃 | |
| 平野 昌子 | |
| 可児 幹祥 | |
| 前川 真奈美 | |
| 中根 範子 | |
| 中村 華奈未 | |
| 加藤 三省 | |
| 齊藤 麻梨子 | |
- 4 事務局 建設部長 中井 克裕
都市計画課 課長 柴山 正晴
都市計画課 都市政策係長 土田 茂紀
都市計画課 主査 渡邊 綾乃
- 5 会議内容 協議議事
1. 可児市景観計画一部改訂について
その他

6 会議の詳細	次のとおり
柴山都市計画課長 (以下、「柴山課長」)	(開会を宣言)
中井建設部長	審議会開催にあたり挨拶を行った。
松本会長	会長の挨拶。
柴山課長	議事録が非公開情報以外は公開となること、発言委員の氏名を明記する旨を説明した。
松本会長	次第4 議事録署名人指名について、可児市景観審議会の運営に関する基準についての10第1項に基づき、本日の会議録に署名していただく委員を竹谷委員、可児委員の2名を指名した。

協議事項1 可児市景観計画一部改訂について

松本会長	協議事項1について、事務局に説明を求めた。
渡邊	「協議事項1 可児市景観計画一部改訂について」を説明した。
加藤委員	資料1 第4章良好な景観の形成に関する方針「住宅地景観」について、⑤の記述に「都市景観の創出」とあるが、都市景観とは何か。住宅地景観とは異なるのか。
渡邊	「都市景観」については、都市機能が調和した景観全体を指す言葉として使用している。この項目では「住宅地景観」の方針の中に位置づけて記述している。
松本会長	「都市景観」というと、景観全体のことを表す広い意味になるので、この文脈では具体的に「住宅地景観の創出」としたほうが適切ではないか。
加藤委員	あわせて、計画書の14ページ、(2)街の景観においても、「都市景観」という言葉が多々出てくるが、これらには何か特別な意味があって使い分けているのか。

松本会長	ここも同様に、誤解を招かないよう修正を行ってはどうか。文脈に合わせて適切な用語に統一すべきではないか。
渡邊	ご指摘のとおり、修正する。
松本会長	今回、太陽光発電施設についても記述を追加した。最近の技術革新では建物の壁や窓に設置する太陽光パネルも出てきている。そうすると建物とセットで考える必要も出てくる。そういった技術革新の状況も踏まえて対応していく必要がある。また、空家の利活用について、他都市では空家の利活用にあたって外国人のマナーなど問題も顕在化している。単に空家を埋めれば良いというだけでなく、景観や住環境を守る視点も重要である。
亀井副会長	計画書36ページ「空家等の適正管理の促進について」の表題が資料1と計画書では異なる。どちらが正しいのか。
渡邊	資料1が最新であり、「空家等の増加に伴う景観保全」の表題に統一する。
加藤委員	景観計画については素晴らしい計画になったと思う。景観計画を進めていくなかでのお願いであるが、計画書37ページの「広報・啓発活動の推進」について、広報誌など一般的なことだけではなく、市民に向けてもっと積極的な方策を出しても良いのではないか。先日、元久々利地区の道路が老朽化しており、舗装工事で全体をグレーのものに変えたいと相談があったが、市と地元で話し合った結果、全体をグレーにするのはなしとして、景観を維持するエリアについては検討してほしいと話し合った。このようなことから、景観に対する興味が薄れしていくと、相談 자체もなくなってしまうが、相談があったということは意識があるとも言えるため、景観への意識づけが重要と感じている。看板1つとっても、市民への景観意識が高ければ配慮されたものが採用されることにつながる。

松本会長	元久々利地区については重点地区の指定範囲を示すようなサインがあると、このエリアの特徴を周知することができるため、良いのではないか。
伊藤副会長	住民に対する意識を高めていかなくてはならないため、住民や来訪者に向けた意識啓発が重要である。重点地区に指定された際は意識が高まるが、その後も継続して皆さんのがより高まる方法を模索してほしい。
松本会長	アドバイザー制度を活用して意識啓発活動を進めてほしい。市の出前講座でも実施しているが、小学生に向けた啓発活動や、先生方による出張授業などをやって頂けると良い。また、観光課や広報情報課など、SNSなどの宣伝ページなどを活用してほしい。元久々利地区だけではなく、埠ヶ丘や木曽川右岸をはじめ、山城などの歴史資源にも着目して頂けると良い。
加藤委員	元久々利地区は山城ということで、先日、横浜市での城EXPOなどでも可児市でPRして頂き、全国的に有名になりつつある。
伊藤副会長	景観のためだけではなく、発信力のあるコンテンツを活かすなかで、少しでも景観にスポットがあたる工夫をいただけないと良い。
松本会長	瀬田で地歌舞伎などもあったと聞くが、切り口を変えて景観を発信頂けると良い。地歌舞伎や祭りなど、人の活動も人文景観の視点として、入れていただけると良い。現在、元久々利地区は景観形成重点地区、景観重要樹木も1本が指定されているが、その先の指定が続かない。可児市で指定すると良い資源があれば、委員からも推薦して頂きたい。指定されることで補助金も出しつつ保全していくと良い。
亀井副会長	計画書25ページから景観重要建造物および樹木の指定候補について写真と共に紹介が掲載されている。今年は計画をつくる目的であったが、景観形成重点地区の候補地が記載されているの

	で、来年度以降、一つ一つ吟味して検討いただけだと良い。
松本会長	景観形成重点地区については、一番大切なのは住民の声である。市が先に動きすぎるのではなく、住民自らが、ここが良いと推薦してもらえると良い。また、委員の皆さんからも景観重要建造物・樹木の候補があれば、是非ご推薦いただき、この会議で議論していきたい。
前川委員	私は子どもの頃、小学校の行き帰りのコスモス畠の思い出や住宅団地のなかのイルミネーションの取組などが自分の心のなかに残っている。外から可児市の景観を見に来てくれるきっかけとなる住民主体の取組も良い。そういう景観の取組も含めて進めていきたい。
松本会長	可児市はバラやさつきなど、様々な花のまちであるので、カタクリや農閑期のレンゲやコスモス畠など、季節ごとの景観を楽しみに見てもらえるような取組は良い。
伊藤副会長	景観スポットとして、市民が関心をもって取り組めるような活動があると良い。そういう取組を表彰すると皆さんのが関心をもって盛り上げて頂けるのではないか。
松本会長	道路と私有地の間の空き地を活用し、花で飾ろうという取組事例がある。このような事例のような「関わり代」があると良い。そこでは花を植えることへの市で補助支援を行っていた。余白を活用した市民の積極的な運動として良い事例だと思う。花を飾つたら表彰するような取組も良い。
柴山課長	そのような取組は可児市でも年2回実施しており、花壇コンクールなど、花に対する取組に対して補助を行っている。計画策定時に比べ、各種制度の啓発について薄れている感じもあるので、広報可児などでPRするなど、継続的に啓発活動にも力を入れていきたい。

松本会長

住んでいる方の心が都市の景観に現れることが、景観計画の本質であると思っている。

議事の終了に際し、進行を事務局に委ねた。

その他

土田都市政策係長

来月以降に都市計画審議会の審議にて、意見聴取を行い、3月議会に報告後、改訂版の計画を公表したい。

柴山課長

(閉会を宣言)